



学校だより 4月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和5年4月7日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

ご入学・ご進級 おめでとうございます

校長 寺園 淳

校庭の桜の花びらが春風に舞う様子に、新年度を穏やかに迎えらる喜びを感じます。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、進級、誠におめでとうございます。

3月20日、小学校生活最後の授業としての卒業式を終え、心より自慢のできる53名の卒業生が石川小学校を巣立っていきました。式辞の中で、子どもたちと一緒に最後の授業の振り返りをしました。入場してくるときの様子、一人ひとりが自分の思いを力強く伝える姿。子どもたちの振り返りはほとんどの子が100点満点と自己評価していました。これが石川小で培った自己肯定感の表れだと考えます。またコロナ禍以前のように、卒業式には在校生を代表して4、5年生が出席し、卒業生の姿を見て次のリーダーとしての心構えを学ぶことができました。特に5年生の姿からは「来年は私たちが石川小をリードするぞ。」という意気込みが伝わってきました。ここに「石川魂」のバトンが受け継がれたことを嬉しく思います。

学校教育目標 「石川魂」

- 最後まで粘り強く頑張る子（知、体）
- 自分や友達の思いを大切に 協働する子（徳）
- 自分たちのまちを愛する子（公、関）

学校教育目標「石川魂」にある三つの姿の具現化をめざすために、どの姿においても基礎となる「主体性」の育成に昨年度から引き続き重点を置いて教育活動に取り組みます。また、今年度は創立150周年の年です。周年を祝う取組が多く計画されています。そのすべてを子どもたちの学びの場としていきます。自ら進んで学びを創れる子どもに育つよう、指導、支援してまいります。

子どもが主体的に取り組めるようにするためには、成功体験の積み重ねが必要です。そしてその成果を評価される（褒められる）ことで、新たな挑戦、やる気に結び付いていきます。また、取組を終えた後、自分にどのような力がついたのか、自覚することも大切です。これが自信へとつながります。そこで保護者の皆様にお願いがあります。お子様の振り返りに協力してください。たくさん話を聞いていただき、そしてお子様の頑張りをほめてくださると、自信がもてるようになります。ぜひ、お願いいたします。

最後になりましたが、PTA 会長津ノ井様をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様には本年度も石川小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。